京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　五號活字十七字詰一行一圓▲五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
發行所　京城新報社　京城西署西小門通（電話六六三）

雜報

本年の鯖漁況（上）

（高橋水產技師調査）

▲季節と漁場　鯖漁業の季節は陰曆四月二十日前後より同五月末頃迄にして本年の成績によれば其漁場は左の三大區域なるが如し（一）巨濟島沿岸玉浦より今島多々浦に至る沿海（二）巨濟の西海岸より欲知蛇梁に至る統營近海（三）南海島の南岸一帶の島嶼、以上は本年大漁せし區域にして來年は安島巨文島方面に展開して活動する漁業者を見るならん本年の成績にて尤も大漁したる場所は巨濟島長承浦の前なる麥島の內にして（長承浦の長崎鼻とを見渡す麥島の北方）其他は魚群を看たるも概して散在し密集し居らざりし模樣なり

▲漁具と漁獲高　漁具は巾着網、揚繰網、縛り網を主とし此外流し網を使用し其漁獲高は全額八百十三万六千餘尾に達し價額も十三萬九千八百二十九圓に上れり今其漁獲高を前記三區域に區分すれば一區六四二六、〇〇〇、二區一〇一〇、〇〇〇、三區七〇〇、〇〇〇尾を漁獲せりと云ふ

▲鯖漁の沿革　最初は對州近海にて操業したる者が自然に巨濟島沖に侵入し來りたるものにして慶島縣日置郡の釣舟は先驅者なるが如し網を使用したるは四十一年にて長承浦居留太田種次郎氏、前田秀生氏が石繰網を小巾着に仕立て〻着手したるが始めにして其結果も可なり宜しく大漁一万尾餘小捕り三四千尾數回ありたるが四十三年度は韓國漁業法の發布もあり韓海出漁獎勵の結果により各府縣より續々視察員渡韓し來り中には鯖網を有望として直ちに斯業に着手したる向もあり其試驗の成績は概して良好なりしを以て本年は多數の從業者を見るに至れり（未完）

●平南線營業開始期

平南線工事は既に去る十六日を以て兩地間に於けるレールの引延ばしを了し其後は建築材料運搬用機關車附列車を運轉し主として線路面の手入れ即ち砂礫の撒布に從事しつゝあるが右は割合に時日と勞費を要するも線路の完成には最所要なるものにて線路の鞏固を期するには普通レールの下部地底二尺位いは平均に砂礫を塡充するの必要あり斯くて始めて完全なる鐵道を見るを得る事なるも平南の如き速成工事を旨とせるより可成手數を省く事となり居るも斯くても猶レール下底に八分通位いは砂礫の塡充を要すべければ全線の同撒布工事を了するは今後猶多少の日子を要すべく目下の處既に右の撒布を了したるは全線三十四哩餘の內二十哩餘なるが右の如くして線路の手入れ及平南間各停車場附屬官舍の建築等全体の工事を了し愈營業を開始するは十月一日なりと云ふ

●馬山灣内の千葉村

千葉縣の出漁に係る馬山灣千葉村は三十九年創設以來每年縣費補助金を給與せられ着々改善の域に進みつゝあり其の位置は馬山灣口に接し尤も安全なる地點を占有す以前は露國の租借地なりしが目下千葉縣聯海漁業團之を經營す最初の創設は明治三十七年十一月千葉縣水產合に於て韓海漁業觀察員を派遣したる報告の結果に因り翌三十八年三月縣營着手し家屋八棟（建坪百〇五坪）を建築して同年五月移住を開始せり當時に於ける漁業團の出資額は二萬圓にして三十九年度迄に漁民百三十二名、（男百〇六、女二十七）を移住せしめたり然るに移住當初は氣候に和せず風土に馴れざる爲めか脚氣病患者其他の病者を出し中には不幸の最後を見るものもあり衛生擁護の工夫に就ては非常の苦心を要したりしが漸次健康狀態に進み來りて今日にては移住者も大に安心するに至り漁業者移住根據地の模範として大に發展しつゝありと

退韓記（一）

勸韓農生

柳江兄足下、月の十六日朝、南大門を出發いたし東上の途に上り申候、京釜沿道の稻作り車窓より瞥見せるところ例年と大したる相違御座なきも水原烏山間にて稻の生育頗ぶる不良なる個所あり、附近の韓農者に問へば一種の病氣にて之れが恢復には非常に苦心いたし居る由に候、概して本年の米作は雨量夥多のため例年植付得ざる所に迄植付くる事を得、之れがため耕地の面積に於て昨年より非常に額を增したるも之れと同時に雨勝ちなる天候は冷氣を强からしめ殊に稻作に對し雨量の必要なると共に日照時も亦必要なるが斯く雨つゞきにて日光の當る時間尠なきため來ん秋の實收に對し甚だ面白からざる結果を生ずる事なきや杯平素値の知れぬ米を食ひ居る身にも行く先きの事が心配に相成り申し候、

秋風嶺に涼ず風立ちて、秋や來にけむ折柄ら倭館附近より降り出せし雨の大邱驛に到りて一と入劇しく、旅の哀れを止め申し候、

此の日未だ東海道線不通の事とて日本行の旅客至つて尠なく、小生の乘りし車室には、御客として日高丙子郎氏及び外人一名と大邱より乘りし婦人一名、外に平澤より太田に赴きし興業會社太田平澤兩出張所主任村木農學士と小生のみにて跡は無賃で大威張りに乘車する鐵道院の御役人數名に有之、ボギー式廣軌の立派なる車室も、殆んど伽藍堂同樣に候ひき、

釜山驛に下車して關釜連絡船に乘り候ところ船室の御客は汽車と顏觸れを異にし每度貴紙杯にも拜見仕る掏摸らしき男杯も交り居り候へど、無きに越したる强味は御座なく、金持つ馬鹿共の心配をヨソにし、心地よき一夜をベットに明し申し候（十八日稿）



講談

大岡政談 越後傳吉

第五十七回　旭堂陵南講

三右衛門是を聞くと　三「コレ蒲團を出せ」甚右衛門が蒲團一枚敷いたんなら、乃公が所ちやア三帖積んで呉れ」と蒲團の上へ座り込んで居る、漸う庄左衛門が來まして奧へ通ると、大蒲團三帖積んで上へドンと一杯に座つて居る、庄左衛門笑ふにも笑はれない　三「イヤ庄左衛門どんか、何だい　庄「實は乃公等の持てる田地をば賣つてしまひたいと思ひますだ、どうかれ前儀の方へ買つて下さいませんかのう　三「何の位あります　庄「二百兩でがす　三「二百兩ありますかな、成程、何うだい、今乃公がところには金子が餘つてる譯でもないが、マア二百兩で値切らずに買ふだその代りに年賦にして呉れねえか餘を受取るのは……　庄「そりやア年賦にでもいたしますが差當つて何の位下さいますか　三「二百年賦だ無利息だ　庄「ヘーイ　三「一年に一兩づゝ拂ひやすだ」庄左衛門驚いた、係な事ぢやア話にならぬ、年に一兩づゝ二百年賦、無茶な事を云れて　庄「仕方がございません御免なさい」トボ〳〵杖を突て戻つて來ましたが、是だけの田地がありながら村方がそれからそれへと風評をするから買人がない、いよ〳〵己れの罪か己の心を責める、仕方がないものでございます、ソコで庄左衛門が庄藏を呼んで　庄「サア三八よ、れ早れ梅も傍へ置き斯うなりやア最う仕方がねぬから、到底この村方に居られねへだ、居られねへと云て田地があるが買人がねへから江戸へ行く譯にも行かねへ、乃公ア仕方がないから明日にでもなれや頭を剃つて坊主になり村方を片ツ端から詫に廻る積りだ、爾うなりや庄左衛門も彼の通りして居るからといふので、モウ之からは道を歩いても惡戯アしやアしなからう、乃公はモウ髮を老て死で行く身体だ、坊主になつて謝罪つても構はないが、汝やれ梅はまだ若い身体だ、江戸へ行きやア又何んな出世でも出來る身體だから、れ梅と庄藏の二人は兼干かの金子拵へてやるからこの土地を立て江戸へ行て呉れねへか二人仲能して何かしていも取付き稼業をして呉んねね、その中に立派な人間に成つたられ等を乃公と二人をば呼び寄せて呉れそれを樂みに乃公ア村方で小さうなつて待つてるから、何うだい　庄「阿父さん、仕方があせん、何にも云ひませんおやア、れ梅を連れまして乃公ア江戸へ出て何からでも達者な身體、働いて一軒の家でも持つやうになりましたら迎ひを寄越しますから………なアれ梅　梅「ハイ」仕樣がないから妾も庄藏さんと一緒に江戸へ出まして今までのやうな事をして居ないで稼ぎます　庄「爾うぢや〳〵、夫婦仲好う江戸で稼いで呉れ頼むから　庄「それに就ちやア阿父さん當分表向に出立をしましたらまた村の奴が土を放つたり石を放つたり蒼蠅うございますから、乃公ア今日夜に入つてから立つ積りで　庄「然うか、それぢやア夜立つて行つて呉んねへ　庄「へイ夜立にいたします　庄「れ早や、ちやアなア御苦勞ぢやけれども、庄藏が立つから支度をしてやつて呉れ　早「ハイ宜うございます、庄藏や、什麽か賴みますよ、江戸へ出たられ梅と仲宜う暮して呉れ、れ梅や、れ前も今までのやうな事をして居ないで庄藏さんを大切にしてね宜いかい、ノラクラリして居ちやア不可ないよ、江戸といふ所は活馬の眼を拔くといふ甚い怖いところだから氣を注けて行かなきやア不可ないよ　梅「ハイ〳〵宜うございます阿母さん決して心配をしないで置いて下さい　庄「イヤ阿母、決して心配しなさるなや、斯ういふ因緣づくの夫婦、爾な心得違ひをする氣遣はないから、二人は仲宜うして行きます、當間の間にれ早が爲には可愛い娘、庄左衛門が爲には可愛い悴、惡人とは云ひながら親子の情愛に變りはない



東京電報

▲遭難英艦救濟 艦ベッドホード號の救濟作業は天候不良の爲め進捗せず同司令長官より救助艦の派遣見合せの電報ありたるが佐世保鎭守府司令長官は天候恢復の見込あるより軍艦和泉、芝罘丸外一隻を派遣したり同救助艦船には造船技師二名技手三名職工二百餘名乘組居れり(廿四日)

▲米作實收豫想 本年の米作實收豫想に關し下岡局長は曰く水害に起因せる田畑被害面積三十萬町歩と見積り内二十萬町歩を稻田とし大凡三百萬石前後なるべし是を本年の實收高四千八百余万石に比すれば四千五百萬石即ち平年作にて落付くならんかと(同上)

▲綾部線の開始 鐵道院に於ては本日より京都綾部園部間の營業を開始し同時に京都線阪鶴線の運轉時間を改正し之に伴ふ東海道線山陽線との連絡の便を計るべし

▲青森線の開通 東京青森間の汽車開通せるを以て臨時連絡船は凡て廢止に決し梅ケ香丸は本日橫濱發會下山丸は明日青森發にて何れも其の任地に歸航する筈(同上)

▲齋藤海相の謝電 帝國軍艦生駒は佛國に於て官民の多大なる歡迎を受けたるより齋藤海相は佛國大統領に宛て謝電を發したり(同上)

▲豫算編成進捗 各省の豫算概算書は孰れも其の編成を了し目下計數上の調査中にて豫定期日たる本月末迄には全部大藏省に出揃ふべく大藏省主計局にては之に基き九月上旬より豫算の査定に着手する筈なり(廿五日)

▲日韓瓦斯配當 來る二十九日日韓瓦斯會社株主總會を開會の筈なり配當は年六分の見込なりと

▲京都驛の脫線 本日午前下の關行き急行列車は京都驛に於て脫線顛覆し乘客死者一名負傷者九名を出せり(同上)

▲各地被害反別 農商務省調査に據れば各府縣水害反別は左の如し(同上)△東京府一千五百町歩△神奈川縣六千町歩△埼玉縣十一萬五千町歩△千葉縣一万五千町歩△茨城縣五千四百九十六町歩△栃木縣八千二百九十六町歩△群馬縣一萬九千六百十一町歩△靜岡縣二萬五千七百十三町歩△三重縣五十五町歩△長野縣四千三百二十七町歩△新潟縣五千六百九十九町歩△福島縣二千三百九十一町歩△宮城縣六万一千八百町歩△岩手縣一万〇六十四町歩△山形縣五千六百町歩△秋田縣七千二百八十五町歩等なり

▲大藏證券發行 本日大藏證券二千五百萬圓新規發行せられたり(同上)

▲乃木大將の病狀 乃木學習院長の病狀は其後良好に向ひつゝあり

▲拓殖局第一部長 内田嘉吉氏臺灣民政長官に轉任に就き臺灣民政長官事務取扱宮尾舜治氏内田氏の後を襲ひ拓殖局第一部長に任命さるべしとの說あり(同上)

紐育電報

▲赤十字社同情 米國赤十字社は電報を以て大水害救濟金として五千弗を駐日大使オブライエン氏に宛て送附したり(廿四日)

▲共和黨の分裂 共和黨は今や全く分裂しルーズベルト氏は謀叛黨の首領たり民主黨は氏を利用して共和黨を壓倒せんとし黨内の團結に力む(同上)

奉天電報

▲新民屯の洪水 連日降雨の爲め柳河氾濫し二十二日午後七時新民屯市街に浸水し領事館床上一尺二寸に及び水勢益加はり突然の浸水なれば居留民の狀況を知る能はざる旨の急報に接し直ちに救助の爲め糧食を輸送し通譯官に警察官を附して急行せしめたりと小池奉天總領事より公報ありたり(廿四日)

▲日露協約密約 吉林府尹は日露協約には滿洲の財政監督其他に付き四ケ條の密約ありとて各議員に演說を發したり或は近く臨時會議を開き之れが善後策を討議すべし

伯林電報

▲大飛行競爭會 巴里に於て飛行週行競爭會開催せらる而して其行程は巴里より伯林ブラッセル倫敦を經て巴里に歸着するものにして其賞金は二十萬馬克なり(廿四日)

▲佛の羅馬政策 佛國外相ピション氏はポーシヤム普佛戰役紀念碑除幕式に臨み一場の演說を試み佛國の羅馬政策が平和的なる事を述べたり(同上)

▲佛大統領の訪蘭 佛國大統領ファリエル氏は秋季の初を以て和蘭皇帝をアムステルダムに訪問すべし

▲露國虎列拉猖獗 露國に於ける虎列拉病は益猖獗となり前週間中發生の患者七千名に達し其の内三千名死亡せり(同上)

●林業事務所の植林 平壤林業事務所に於ける植林事業の次第を聞くに昨年平壤郡石嶋山十七町歩に七万二千[illegible]百六十本、愛美山二十四町歩に一万[illegible]千七百四十二本、坎北山三十三町歩に十七萬二千十四本の赤松[illegible]落葉松を植栽し昨年は中和郡[illegible]五十町歩に九萬本の赤松、櫟、アカシヤ、山赤楊を移したるが何れも目下成長中、遲緩の傾あるも二三年後は見るべきものあるべし落葉樹は其中獨り成績良好にして[illegible]と見るもの[illegible]石を播種せしが時季稍遲きに過ぎ乾燥激しく且つ害獸のために害せられて成績充分ならざるものありしも前途有望[illegible]四百十八本の黑松、櫟、楓を移し爾後每年增植し今年もアカシヤ、ポプラ等を植栽たるが附近住民の公德心缺[illegible]林を作るを以て最も[illegible]すべく生育の遲にし[illegible]ばざる樹木の森林を造り後長期の造林材料を覆せしむるに至りたるを以てポ[illegible]

税關假置場の利用

日本の主要開港場には各其地税關に假置場なるもの設置あり專ら國際の仲繼貿易を利便ならしむるの趣旨にして外國より來る貨物を一時藏置し改裝、仕分其他商品の手入を爲すを得せしめ荷主の都合に依り再び外國に轉輸し又は關税を納附して輸入引取ることをも得る組織なれば船便其他の都合にて歐米より韓國に輸入する貨物か此の方法に依り一旦日本に陸揚し更に當國に來るもの尠からず即ち小麥粉其他飮食物類、金物類、機械類、油類等其主なるものなるが更に韓國産の米、大豆等歐米其他に輸出する爲め日本に仕向くるに當りては右の假置場を利用するもの漸く增加し殊に近時該假置場内にて或程度の加工をも許さるゝに依り是等加工の目的を以て私人にて假置場に充つべき倉庫等の建設を爲し其筋の許可を得て營業する者續出するに至り今之を掲ぐれば

一 長崎にては明治三十九年同地某會社の外國大豆を以て肥料の製造、外國麥の粉碎等を開始せるあり

二 門司にては昨四十二年合名會社鈴木商店か韓國より輸入する臥入米を唐箕及萬石斛を用ひて塵芥砂碎米等を除去し之を麻袋に改裝して輸出し又外國塩若くは一旦輸出したる臺灣鹽を移入し粉碎し改裝することを開始したるあり

三 神戸にては客月同地の日本精米製粉株式會社が韓國米を磨擦精撰し外國輸出を企劃せるあり

右の如く日本に於ける税關假置場は益々其利用を擴張せられ爲に韓國大豆等は無税にて日本にて加工輸出の便を得るが故に將來は一層海外に其販路を開拓し輸出の增加するを期待し得べしと

(關税局報)

新聞取締の寛大

近來京城の言論界は元より内地新聞の取締嚴重にして釜山にて押收さるゝも其日日多數に上り居りしが今後は餘り急激に渡らざる限り押收せざる事となり下の關に出張の森脇警部も廿六日夜の連絡船にて歸任すべしと

●長老派蓮洞教内訌 近來外國宣教師は孰れも愼重の態度を持し眞面目に布教に從事しつゝあるは洵に喜ぶ可き現象なるが一方之に對する韓人牧師又は信徒等の意向如何を見るに元來彼等の耶蘇教徒となり若くは其濟度を受けんとするは神聖なる宗教的信念に基くに非ずして謂はゞ自己の利害より打算し外國人の治外法權を翳ざして事を爲さん野心に外ならず然れば其顚みとする外國人の態度適當の如くなるより自然驕慢となり爲めに各派とも多少の内訌を見ざるなく特に英人ゲール氏の主宰する長老派蓮洞教會の如きは近頃教派に別れて黨同異伐を行ひ去る日曜日に開催せる長老撰舉會に於て一大紛擾を釀もすに到れりと而して其結果ゲール氏と李源兢との反目を生じ支離滅裂遂に收拾すべからざるに到らんと云へり

●官煙賣行きの摸樣 東亞煙草會社の製造に係る巻煙草は兩切にてはウエルス、ハチビー口付にては朝日やまとの四種なるが既にやまとを除くの外は總べて官煙の供給を要せざるまでに進捗しやまとも今後二三ケ月後に到らば全部需要を充たし得るに到るべしと而して目下の賣行は一般の不景氣に伴ひ多少の影響を免れずして幾分悲觀の有樣に在るも之を昨年に比すれば益々增加の傾向あり唯だ其嗜好が次第に向下して上物より安物の歡迎さるゝは寧ろ不思議の現象と言ふべく思ふに是れ韓國民の民度夫れ然らしむるものにして内地とは反對の事實なり

●水道會社龍山支線 龍山地區に於ける水道管は本通りの幹線なるのみにして其支線は全部未敷設に屬するが始め元龍山民團は當時屢々同社に交涉せるも兩者の間に條件の協定成らざる爲め遂に今日迄空しく荏苒し居れり然るに現在の儘にては一朝失火等の事故あるも水盤消火栓を使用する能はず其不便尠からざるを以て古城民長は過日來同社に對し支線の敷設を許す代りに消火栓の使用を讓るべく交涉し之に關する條件も略々兩者の意見合致せるを以て近々正式に契約の締結を爲すべしと云ふ

●内地新聞又々押收 左記内地新聞は治安を妨害するものと認められ韓國に輸入を禁止せらる▲二十日發行報知新聞號外▲二十三日發行鹿兒島新聞、讀賣新聞、都新聞、東京時事新報、神戸新聞、中央新聞、下の關實業日報、報知新聞、東京朝日新聞、下の關新聞▲二十四日發行神戸新聞、東京毎日新聞、大阪毎日新聞、大阪新報、山陽新聞、大阪朝日新聞、大阪時事新報、藝備日々新聞、九州日々新聞、福岡日々新聞、中國新聞、下の關日の出新聞、馬關毎日新聞

●東亞烟草と韓國葉 東亞煙草株式會社にては韓國葉の研究を開始し充分其價値を確めたるも之を用ゆるには他の特別銘を付するの必要あり則ち其煙質は日本官煙に適せざるを以て相當品種のものを製出せざるべからず然らんには日本政府の許可を受くるを需するを以て實際使用し得るまでには尚は前途未知數なりと云ふ

●梅博士危篤と叙勳 法典調査局顧問として韓國の法制上至大の功勳ある梅法學博士は不幸惡疫の冒す處となり大韓醫院に入院治療中の處昨今病勢大に募り到底恢復の見込なき由なるが右の趣き韓廷に聽え左の通り叙勳ありたり

法典調査局顧問 法學博士 梅謙二郎

韓國法典調査の功に依り特叙勳一等賜太極章

●宣教師派遣の運動 平壤控訴院書記長村上唯吉氏先般歸朝の序を以て京都同志社神學部神戸傳道協會及び阪神間各傳道要部と韓國へ宣教師派遣の案件につき協定する所ありたるが二十二日夜平壤組合教會々堂にて同氏より之が報告ありたりと

●韓實業家敍勳續報 韓國實業家の敍勳其後の分左の如し

漢城銀行監査役 鄭永斗

天一銀行取締役 尹晶錫

同 同 金時鉉

韓一銀行取締役 白寅基

特叙勳六等賜太極章(各通)

●定例内閣會議開催 二十五日は閣議の定例日に就き高、趙、朴、閔の四相は午前十一時登廳せり李總理及び李學相は缺席せり

●獨逸水雷艇の入港 廿四日午後四時四十分獨逸水雷艇第四十七號及タークの二隻清國青島より入港

●紐飄驛の乘降客 廿四日の分如左▲乘客七十名降客八十九名

韓人虐待を戒む

▲寺内統監談

寺内統監語りて曰く渡韓以來日韓人民の關係を注視するに稍もすれば本邦人が韓人を蔑視し壓制するの傾向あり之が爲め徒に韓人の惡感を買ふが如き現象を呈しつゝあるは余の最も遺憾とする所なり殊に從來在韓邦人中相當の學識ある人にして往々韓人は威壓を以てするに非れば到底御し得べからざるものなりとの見解を持して所謂敎化主義の如きは韓民の實相を知らざるに因由する妄見なりなど公言する者さへあるは言語同斷と云ふべし韓民亦一個の國民なり宜しく相當の禮遇なかるべからず若し輕し易きの故を以て之を蔑視せば彼却つて邦人を疎むべく更に抑壓を逞うせんには恐るべき反抗心を惹起せしむるに至るべし韓人亦一個の人格を有す之に接する宜しく其度を得ざるべからず邦人が稍々優等なる地位を認めらるゝ國民なるの故を以て彼を侮るが如き事あらば終に邦人を見る事蛇蝎の如くならんこと必せり是れ最も憂ふべき現象に非ずや既に伊藤公の統監たりし時に於て公の深く患ひ嚴に戒めたるも亦此の點にありき而して今日尚同一の禍患なき能はざるは深く遺憾に感ずるところなり是れ邦人が彼等に比し一層優良の國民たる場合に於ても尙然らざるべからず況や邦人文明の實際程度は未だ韓民を拔く事數等の優等なる段階に達せるに非ず双方の社會を平均して仔細に觀察すれば彼我文明の程度只數歩の進長を我れに見るに過ぎざるをや余者韓役一日統監府樓上より日韓勞働者の爭論を目擊し其事情は詳知し難かりしも結局邦人が韓人に暴行を加ふるに至りたれば邦人に注意を與へたる事ありき此類決して少なからざるべきを以て官民共に意を用ゐ彼等の指導者として信頼に値すべき態度を持せざるべからず是れ實に最巧妙の政策よりも尙は以上の効果を有すべければなり

以上は東京日々新聞より拔載せるものなるが實は統監が本談話を試みられし際には余輩も席に在つて傍聽の榮を荷ひしなり。

山縣氏のソウルプレス、白川氏の平壤日報及び我京城新報は日常繰返し繰返し韓人虐待の不可なるを說く而かも反響の比較的少なきを憾とす、今や賢明にして深慮ある我寺内統監本問題に關して鶴の一聲を發す、日韓民融和の端之より開くるや必せり。

坐礁英艦の其後

二十四日午後全羅南道警務部長より其筋への電報によれば本日木浦へ入港したるソウシン丸船員の談に依れば坐礁軍艦は殆んど沈沒し僅に檣のみ水面に現はれ居れり又濟州島碇泊軍艦淀發佐世保無線電報によれば軍艦和泉は芝罘丸及ライター船二隻を率ひ猿猴丸と共に廿四日午前七時三十分頃來着すべくベットボートは外見上普通の姿勢にあるも機罐室に大破損を生ぜしと見へ十八名の死者を出し乘組員の多數は他艦に移り艦長のみ通勤し艦旗は卸し居れりと云々

●群山地方農事狀況 群山に於ける日韓人の關係は益々親善を加ふると共に漸次本邦農事經營者の數を增し現今群山、全州、江景其の他樞要の都邑を根據として錦江、萬頃江、東津江の流域に散在せる經營者は其の數殆んど三百を超ゆるの勢を呈せり而して是等農事經營者は相互の紛爭を避くると農事の振興改良を企圖するの目的を以て各組合を組織し着々其の改善を計りつゝあり今群山に於ける組合員の數及投資額を示せば組合員百九十五人にして投資總額百九十八万九千圓の巨額に達し買收せる土地の區域は沸沃、臨陂、全州、金堤、萬頃、咸悅、扶安、古阜、[illegible]郡にして水田[illegible]十九萬九百斗落に上れり之れを本邦反別に換算すれば一萬二千三百九十四町六反歩に相當し既往六ケ年の間に之れを割當つれば人員に於て一ケ年三十二名投資格に於て一ケ年三十三萬一千五百圓となれり今後土地の改善行はれ全州平野に於ける水利組合の工事竣工し排水灌漑の便を見るに至らば同地方に於ける農事の進歩著々として將來韓半島の農業模範場を以て目せらる

●全羅北道の農作物 客月中陰雲勝ちなる天候も下旬以來晴天打ち續けるより農作物の生育頗る良好なりしが爾來旱天二十日餘も續けるより今は却て萎凋し水田にも龜裂を生ぜるなど農民は頗る憂慮し慈雨を渴望せる折柄去る二十一日午後より降雨微霽翌二十二日午前六時頃迄降續きしかば農作物は蘇生せるが如く益々繁茂し此の分にて盡したる天災もなくば本年は大農作ならんと農民は太く喜び居り

●京城民會の召集期 京城民團にては四十二年度決算報告及火葬場新設に關する豫算の更正並に別項龍山地區内に於ける水道消火栓使用に伴ふ報償金支出に付民會を召集する筈なるが其期日は來月七八日頃なりと

●酒本警部の出發 警務總監部より釜山警察署の轉勤せし酒本警部は二十五日午前九時南大門驛發赴任したるが警察官其他の見送り頗る多數なりき

●靑木會頭の出張 仁川商業會議所靑木會頭は鹽業視察の爲二十四日出發一週間の豫定にて安東縣地方へ出張す

●上村豊助氏出發 元中部警察署長上村豊助氏は二十六日朝出發歸國の筈

●矢島局長の入京 公州財務監督局長矢島永二郎氏は廿四日不知火に投宿

●高橋辯護士入京 辯護士高橋常郎氏は二十四日入京旭屋旅館に投宿せり

▲京城手形交換高▼

八月	金高	枚數
廿五日	一七四、五六六、七二	二八六

▲仁川米豆取引所▼

●▲前場(廿五日) 一節九圓五十六錢▲二節五十四錢五十五錢四錢三錢▲三節五十錢四十九錢▲出來高二千五百石

●▲後場(廿五日) 一節九圓五十二錢▲二節五十二錢五十錢四十九錢九錢五十錢▲出來高九百五十石

▲大阪期米電報▼

●▲前場(廿五日) 八月限 寄附十三圓七十四錢▲九月限 同十四圓十二錢▲十月限 同十四圓廿六錢▲八月限止出來不申▲九月止 十四圓九錢▲十月止 十四圓十六錢

●▲後場(廿五日) 八月限出來不申▲九月限 寄付十三圓七十九錢七十一錢▲十月限寄付 十四圓十二錢▲八月限止出來不申▲九月限止 十四圓二十六錢▲十月限止 二十一錢

▲龍山雜信▼

▲民團助役問題に付ては議員選擧人名簿調製等の爲め一時ザワツキたる龍山議員諸君も盛り返へしたる頃日の炎熱に委ねやしけん靜まりかへつてグウとも云はず之れを天長地久國士安全の端緒とは云ふなり

▲一時蔓延せんとかの虞れありたる龍山の赤痢も警察及民團の努力に依り熄滅したるが如し市民の幸此の上あらず

▲治外法權▼

曾禰前統監の病氣が愈々重態に陷つたとは傷はしい事だ、何を云ふにも衰弱の上に衰弱を重ねた事故到底助かるまいとは菊池大韓醫院長の宣言だソウだ▲記者は不幸にして曾禰子とは公私何かに附け意見を異にし、蟷螂の斧的ではあつたが彼が在職中は絶体に反對した、併し彼が今日の如く職を辭し尙其上に病氣迄重態と聞いては人一倍氣の毒の感じがする▲曾禰子の無頓着さは有名なものだがソレでも異率なところが萬更無いでもない、一例を擧ぐれば彼れは故伊藤公の追悼會に病中を推して臨場した▲追悼會は元軍司令部構内の野天で行はれ當日の寒氣は隨分烈しかつた、併し病中の彼は先輩に對する禮を重んじ式の始より終まで体をタッすずに長時間寒天に佇立した、如斯獻身的行爲は普通人の中々爲し能はざるところだ、而して彼は此日よりして病氣が一層惡くなつた▲前大統領ルーズベルトと現大統領タフトとが同じ共和黨に屬して居ながら喧嘩を始めたソウだ、兎角政權は如何なる偉人をも俗にせねば止まぬ▲靜岡縣濱松郵便局の集配人が同盟罷業をした、町民調停の勞を採り集配人の要求が納れられたとは近頃面白い話だ▲重要問題は解決されたが扨其内容はドンナ物かと誰れも彼れもが見たがつて居る、透視眼を持たぬ人達と云ふはサテモサテモ不自由なものだ▲冗員三割減風說の爲に官吏社會がパニツクとは意味の無い話だ、考へても見玉へ中央の機關は比較的小さくなるが其代り地方の仕事が殖ゑる、京城で止めた官吏は地方へ行けば良いのだ、何を理由に取越苦勞をするか▲此頃コソコソ辭職して内地へ逃歸る官吏が幾らもあるアレは退官賜金をとる爲と自己の曲事が破れ掛かつた爲だ。

外人の視たる半島

右記事本日休載

●林業事務所の植林

平壌林業事務所に於ける植林事業の大體を聞くに昨年平壌郡石拝山十七町歩に七万二千百六十本、愛美山二十四町歩に[illegible]千七百四十二本、玖北山三十三町歩に十七萬二千十四本の赤松、落葉松を植ゑ昨年度中和郡玉寶峯五十町歩に九萬本の赤松、櫟、アカシヤ、山赤楊を移したるが、是等は目下成長稍々遲緩の傾あるも二三年後は見るべきものあるべし落葉樹は其中獨り成績良好にして毎年平均一尺以上の生育を見るものあり玉寶峯には昨年櫟五石を播種せしが時季稍遲きに過ぎ乾燥激しく且つ野鼠のために害せられて成績充分ならざるものありしも前途有望[illegible]致林設置の計畫にて五町歩に一万二千四百十八本の黒松、櫟、楓、[illegible]を移し爾後毎年増植し今年もアカシヤ、ポプラ等を植付たるが附近住民の公德心缺[illegible]林を作るを以て最も策の得たるものと[illegible]すべく生育の速にして比較的土質を選ばざる樹木の森林を造り後長期の造林計畫に[illegible]合し何れも薪炭料、枕木其他の用材となる可く特に枕木は近來防腐劑を以て材質を堅せしむるに至りたるを以てか[illegible]比較的柔弱なる材質を有す[illegible]て悲觀すべきものにあらずとのことなり



助產婦と韓姙婦(下)

▽出產後一家の逃亡

工藤武城が企てた助產婦組合は報酬問題で成立しなかつた、否規定以下の報酬で招に應じたる者は場合に依つては除名すると云ふ一項の爲めに破れた、

反對者の理由とする所は斯くては其日稼ぎの勞働者や下級韓人の家族は產時の危險を防ぐことは出來ない、今日は吾々の職とても仁術一方で立ち行くものではないが然りとて營利一方のものでもない場合によりては車代や脫脂綿や產著の一枚位贈與する覺悟がなくてはならぬのであるから斯くの如き**條項の下に拘束**せらるゝ事は**御免蒙りたい**、況んや私共の當地に開業したのは日人移住者をのみ目的にしたのでなく却つて韓人間に華主を求め且つ夫れ等をして文明の惠に浴せしめ樣と云ふのが大趣旨である、だから有る人からは心附けらるゝ儘に二十圓でも三十圓でも遠慮なく取りもし又請求もするが貧者に對しては其の成すが儘に一任して置く覺悟であると云ふ至極尤もな申條であるから之れに對しては流石の**我利我利連**も反對する勇氣は出さなかつた樣だが夫れは單に口に出さないと云ふ丈けだ腹の中では**太不平**であつたと見へ不文法として七圓最低限を實行して居るのが多い、と云ふのは昨紙に述べた下層韓民の招ぎに應ずるを澁ると云ふに徵して明白な事實である而して日人は姙娠當初から出產後二七日若しくは四七日に至る幾度となく其の手數を煩はすのであるから七圓最低限は決して不當ではないが夫れすら除外例を置かなくては不可んのだ、況んや**一般韓人**は多く出產時丈けの取り上を賴む即ち**一回限り**のものだ然るに倘此れに**日人同樣の負擔**を强ゆるのは**不心得**で其の天職を解せぬものと云ふべきである、此所に**一例**を擧げると過日當地より五七里を隔てたる所の一韓家より難產にて苦しみつゝあれば來て與れとて迎ひを彼の○○氏の許へ寄越したので早速車を急がせて行つて見ると頗るの難產で助手兼相談相手が要るので更に使を走らせて○○氏の來車を促し協力して試たが元來難產の上夫れ迄に素人の手で弄り回してあつた爲め何うしても出ぬので遂ひに胎兒の頭を壞して出したが產後の經過を見る必要があるので○○氏は居殘つて一夜を其所に過した其の韓人の家屋と云つたら溫突二三間しかない極めて穢汚しいものであつた、翌日**謝禮額**を聞かれたので**二十五圓を請求**して歸つて二三日經つて何は其經過を見旁同家を訪れて見ると驚くべし既に何方へか姿を匿して**一家ガラ空き**流石の○○氏開いて口が閉がらなかつた相だ、**兩人掛り**で此の遠路を出張したのだから二十五圓は或は**至當**な請求であつたらうが殘念なことには其の人の**生活程度を洞察**しなかつた爲め佛作つて魂入れずの結果を見たのである此の惡意なくして生じたる結果は○○氏の——延いて日人產婆の異意を韓人間に誤り傳へらるゝこととなる、鑑みても愼むべきであらう、而して僕は一方**韓人助產婦の養成**を希望して止まぬものである(むの字)

罰當りの奴女郎

▽罰は淺草觀音樣

去る頃淺草の觀音樣吉原女郎が客を送り出して後イザヤ寢ようと云ふ所へ一寸八分と云ふ小さな身體をお運びになりた前方昨夜からの疲れもあらうが一寸云ひ聞かせて置くことがあるからと病院の大廣間へ一同を呼び集へさせ給ひ**金色の御口**を開かせられ此の頃の不景氣に斯う云ふことを云ふのは俺も甚だ心苦しいが一にはれ前途の後世の爲め二には世間の爲めだから惡く思はず聞いて與んな、と云ふのは他でもないが**如何に好**いたらしい**男でも必ず妻子**のあるものと**二世の約束**しなさんなよとぞ申されけるは一般に知られたる事なるが不心得者の多くのものはれ歸りになると未だその戀の見へる間からモウ「**觀音さまも好かねば**よ」とぞ云ひけるとか茲に其の御多分に洩れぬは新町**高島屋の奴**なり此の妓生れは昔は長脇差今は養蠶で有名な上州にて本名を高橋ますと云ひ**三十一の年增**盛りなるが去る四十年十二月と云ふに同樓に抱へられ爾來勵精能り在る間通信何んとかに勸める**內藤と云ふ三つも年下**の男の故鄕に妻も子もあるのを承知で**深い交情**となつたが內藤も又友人や上官の意見も豚の面へ泥何の利目もなきのみか此れは畢竟兩人の交情を妬くのなりと自惚れてセツセと通ふて御座るが一體全體此の遊興費は何所から何う融通を附けるのか其の不思議は第二番**本年十二月**には**年が明けたら夫婦**になると鄕里の事なぞ忘れ果てし双方夢中の體なりと云ふが今に見ろ觀音樣の罰が當るからナ

ムツツリと饒舌

▽此れは似ぬもの夫婦

酒屋必ずしも上戶にあらずブリキ屋必ずしも喧し屋にあらず嗚ア必ずしも亭主の云ふことを肯くものにあらず此所明治町○丁目にガン〳〵ジャン〳〵と八釜敷こと宛然木槌でブリキ家根を叩き回るが如き稼業人あり主人と云ふは貸した金の催促するのも厭だと云ふ程のムツツリ家のれ人好し夫れに引き代へ妻君のれ何と云ふは地震に會つた瀨戶物屋か大風に逢つた風鈴賣りの荷物宜しく、ガンラガラ〳〵チリチリチン〳〵のチンと飯を食ふ間も小歇なく嘵舌るは〳〵寢れば寐言に向ふ三軒兩隣りの眠を覺ます程なるに搆て〳〵加へての底拔上戶飮んだら最後醜態續出するので近所の手前息子達の見る眼もあるので流石のムツツリ默止つて居られず何か一言云ふと猩々女威丈高になつて矢鱈早に怒鳴り飛ばす而して亭主殿をして沈默せしめずんば止まない元來口無調法な亭主殿直ちに沈默させらるゝが流石に面白くはないので、商賣物をガン〳〵行り出す近所の者こそ好い迷惑なりと何んのことやら分つた如な分らぬ如な投書がヒラリ

若龍の仁川落

▽相手は郵便局小包掛

郵便局小包掛りに伊藤某なる高襟男あり獨身の不自由さに或日新町遊廓高島屋に登樓し若龍と云ふ高襟女郎を敵妓に遊興したるが病附きとなり一度が二度夫れより三四五度と繁々通ふ樣になり片時も若龍の事は忘れ切れず或る時は小包の領收證に若龍樣抔記載せし事ありて同列の友人に笑はれたる事も屢々ありしが遂に監督官の耳に入りたるも若い者だと或る程度迄は知らぬ顏をなし居りしも餘りに甚だしきにぞ本人の身の爲め惡しかれば充分なる注告を與へしより伊藤も一時は改悛せんと試みしも然う甘くは參らず矢張り人目を忍んでは登樓して限りある收入を注ぎ込み居たる果ては借金で首も廻らぬ樣になりしより愈々捨て置けずと全然改悛せざれば解雇す可き旨最後の注告を與へしに伊藤は死んでも若龍とは別るゝ事出來ずと見れ表面は改悛せし如く見せ掛け相變ず通ひ居たるが鬼ても此所では夫婦となること難ければ駈落と相談一決し若龍は二十五日午前八時頃泥醉街迄遊びに行くと外出願を派出所に出し家出したる儘規定の時間內に歸らざるより派出所より注意を受けたる高島屋は若龍の居室を取調しに荷物の如きは何日の間に持ち出したるか何も無きより借ては逃げられたと覺つた樓主は吃驚仰天此の不景氣に娼妓に逃げられて一大事と早速其筋に願出しより各地に取押へ方打電せしにぞ間もなく仁川にて兩人とも取押られたるより樓主及近藤事務員は身柄受取に行たりと

女振り



安田不二丸氏夫人 安田しか子

安田不二丸君は農商工部商工局の技師で明治元年十一月を以て錦川沼々郡岩國町に生れたのだ正五位勳六等の工學士である、大分縣技師から統監府技師に轉じ鎭南浦に在任せられたのだが又轉じて現の職に就かれたのである、不二丸君が大分縣在任當時は夫人は同縣立高等女學校の英語科の教師をして居られた相だ、當地では田安しか子なんて云つても知る人は誠に少ないが京城日報に其の名を見る秀閨女史のことであると云へば何人も殆んど知らない人はなからう……イヤ幽蘭アレも有名だが方面が違ふ人物が違ふ…しか子さんの御生國も不二丸君と同じく岩國町であるが廣島の女子師範學校を卒業後も盛んに英語を研究せられたのである相な、當地では湖崎氏經營の女子技藝學校の囑托を受けて修身科を專任擔當して居らるゝ、と判つたら京城日報紙上に至誠と題して誠に判り善い修身談を連載せらるゝ趣意と云ふものも判るであらふ、たしかさんの文才は所謂天授である、一度筆を呵せば千言萬語立に成る、行文水の流るゝが如き槪がある、而して更にれしかさんは頗る外交家で決して人をソラさぬ、のみか內へ向つては修養だとか倫理だとかの堅い話はなさらぬ、良人の行動は良人の自由だ如何なことを成さらうとも決して干渉ケ間敷ことがない計りでなく寧ろ放任に過ぐる位で他人から見ると却つて少しは干渉なさらぬと思はるゝ事もある、明治七年の出生、れ子樣は二人ある。

白蟻と諸建築物

▽和歌山城陷らんとす

亞非利加を主產地とする白蟻の害の恐るべきことは誰しも知る所なるが此頃紀州和歌山の舊城の天守を始め同國加太町なる深山要塞地附近及び紀州の對岸淡路の由良、顔良の舊重砲兵第三聯隊兵舍その他の諸建築物にこの白蟻の發生せるを認め檢査の結果和歌山城の如きは命運旦夕に迫れるを發見したる椿事あり陸軍技師植木捨次郎氏はこれが爲同地方に急行し陸軍省は近々全國各師團に令して建物檢査を行はしむる豫定なるが何ぞ知らん既に東京に於ても近江を經てこの白蟻を傳へ某省內の一部の如き早くも慘害を被れる所ありと聞くこそ愈よ驚かるれ植木技師の談によれば和歌山城の白蟻は建築後間もなく發生したるもの〻如しといへど動物學者の說によれば白蟻の繁殖はしかく長日月を要するものにあらず思ふに臺灣より渡り來りて一兩年にしてこの猖獗を致せしものならん形虱に似て三分位あり最も松材を好み柱となく梁となく喰盡さずんば止まず殊にこの蟻の始末に苦むはケレオソート、ナフサリン等の普通の藥劑を以てしては驅除し難きことにてこの儘に荏苒日を經るに於ては紀淡海峽を中心とせる諸城塞の破壞すべきはいふまでもなくもし不幸にして奈良京都あたりに入るとあらば千年の歷史を有する特別保護建造物も一朝にして失はれんとその道の人々はその道の人々にて憂慮しつゝあり

待合業の營業期間

▽當然なる取締方針

京城市內に散在せる小料理店が今後十箇月限りにて他業に復するか或は市外に一廓をなして營業するかの端目に陷りしは先頭揭載せし所なるが爾來待合業に轉せんとするの傾向あるより斯くては折角の取締も畫餅に歸するにぞ今後新規の待合營業は一切許可せずして現在の待合も今後十箇月限りにて禁止せらるゝ筈なりと云ふ

●兩投書家にお斷 笠原君の投書は酒は事實精探の必要あり、本町讀者君の御注文は追つて發表すべければ今暫時猶豫ありたし

●お目玉頂戴二件 仁川濱町白石旅館の客引布井米次郎(三六)は一定の服裝をなさゞるのみならず强て客を宿泊せしめんとしたるを以て嚴重說諭さる▲仁川京町二丁目飲食店和田しれは酌婦宮崎きそをして客席に於て藝妓に紛らはしき行爲を爲さしめ居るを認められ是れも御目玉

●總菜料理の開業 久しく仁川旭屋旅館の料理人として食通を唸らせ居たる工藤は去る二十四日同地本町四丁目に喜樂と銘打つて惣菜料理を開業したるが彼れが料理人としての價値は一般の認むる所なれば大繁昌疑なし

●不良飮料水投棄 仁川支那町一丁目竹下喜代太郎店頭にて販賣のサイダー四本腐敗し居たるを以て投棄せしめたりと云ふ



●赤痢患者の入院 島根縣人當時大和町三丁目四十五番戶椿今朝太郎(二九)は去る二十三日より赤痢に罹り大韓醫院に入院せり

●二十四日の敷島 敷島廿四日夜の遊客は二十名にして費消金タツタ五十三圓八十錢此れで屁に五厘とない丈けが未だしもなり

●石炭叺入を拾ふ 仁川萬石町柳原好三は廿三日午後五時頃自宅裏街路に遺棄しある石炭叺一俵拾得

●震死 朱安面朱安李信任(四〇)は一昨日十時頃折柄の雷雨中朱安面通行の際落雷の爲めに震死す

目と耳

▲壽座 合同劇廿四日の代り狂言は喜劇「知らぬ同士」三場、喜劇「奥州安ケ原和荻祭文之場」、喜劇「義理」二場、電氣應用「螢狩り」

▲浪花館 廣八一座廿五日代り番組 御祝儀實の入船(入登)いもせ山いごが幻の段(廣吉)太功記ゆう顏たなの段(越濱)鎌倉三代記(此重)梅川忠兵衛新口村の段(此千代)本朝廿四孝(仙春)三十三間堂平太郎住家の段(隅照)岸姬松三段目(越春)れつま八郞兵衛鍛谷の段(廣八)大切關取千兩幟(總掛合)三味線(仙平)

●天氣豫報(自廿五日午後六時至廿六日午後六時)(本町五丁目三二館判斷)

南東風曇但少雨

廿四日(華氏) 最高溫度 八四、二 最低溫度 七三、〇

今日の運勢

八月廿六日舊七月廿一日 七赤先負癸亥平三りんぼ

●一白 新事旅行見合せの事口腹の害を戒しむ△●二黑 賣買貸借注意の事賣買取引貸借紛紜生ぜんとす不動產の事及新事其他快欣の日大抵吉△●三碧 [illegible]△●四綠 諸事謹愼の事横領見合せの事△●五黃 取引賣買金品授受證券の事故障起らんとす其他凡平△●六白 音信異事を遺失防ぐべし婚談共同連盟の事吉△●七赤 新事旅行見合せの事賣買貸借違錯あらんとす△●八白 知己朋友の爲め世話事多し他は平凡△●九紫 遲滯不迎の日新事旅行訴訟示談婚談結社に忌む

瀛船出港廣告

月串、甕津、海州行

天草丸
安來丸
成歡丸

隔日出港

仁川港海岸通（電話四一九）柴田回漕店

出港廣告

尼崎瀛船

群山木浦釜山下關神戸大阪行
神代丸 月 日午後四時
君が代丸 月 日午後四時發
秀吉丸 月 日午後四時
大有丸 月 日午後四時

木浦釜山下之關神戸大阪行
大有丸 月 日午後四時

仁川港取扱店 高杉回漕部（電話五九）

美江公州 問出帆廣告

美江發 毎日後一時（京城方面ヨリ急行接續）
公州發 毎日前七時（京城方面行急行接續）

（乘客共御取扱可申候）
御用向ノ御方ハ（京城仁川鳥致院美江公州）中條店ヘ御尋被下度候



入院隨意

內外科
小兒病
梅毒淋病

高井醫院
京城壽町三丁目
電話（二一六）
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

一鴨綠江松材現木

長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄

右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候

京城旭町三丁目（電話五六八番）

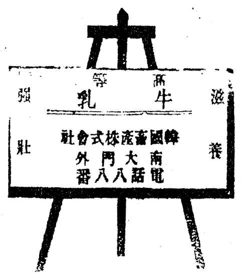
建築業 表具部開業 柴田芝之六

襖、額、屛風、天井、壁張及表裝一切並書畫の需用に應す

旭町三丁目三日月湯隣

柴田表具部

主任 網島久雄
賣 光小太郎
（電話五六八）



大勉强!!!

薄利多賣の目的を大々的安賣仕り候間御小賣とも多少に不拘御用命の程伏而願上候

▲西洋貨、洋酒、食料品
▲各國煙草、洋菓子、化粧品
▲支那緞子、紋繻子、絹紬類
▲浦潮更紗、毛布類、食器

支那織物は特に大安賣仕候
仁川港支那町（電話八一八番）

上等パン 食製造販賣

直輸入卸小賣 （周） 義生盛號

京城南大門通（電話一一三六番） 義生盛號
木浦各國居留地（電話一六九番） 義生盛號
釜山南草梁支那町（電話五六〇番） 義生盛號
長崎市梅香崎 裕和盛號

清國支店
營口永世街、奉天城內、上海二擺渡 裕和盛

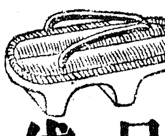
芝罘 鐵嶺西門外、芝罘は日本一等旅館營業

是からが、恐ろしひ

朝夕、冷氣を催ふし身体の健康を害す
惡疫は機に乘ぜんとす
諸君!!
常備藥として
商標
清快丸の
要意宜しき？
（到る所の藥店に販賣す）

本舖 日本大坂 高橋盛大堂藥局
代理店 京城本町五丁目 木下大盛堂藥局
同南大門通三丁目 新井藥房

東京 足袋



本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場內ニモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

食道樂

新に堪能の料理人を入れ調理の面目を新にし季節々々の粹を凝らしたる目新らしき所を御試めし願上候
壽司、うなぎ、アイスクリームも同樣御高評願上候
壽町二丁目
電話九百四十四地

入院隨意

仁川病院

院長 醫學士 由利弘
副院長 醫學得業士 長尾乙二
慈惠會醫學士 尾上早見
東京醫科大學 齒科專攻 菊池徹
藥劑士 常盤光雄

電話十六番

韓國銀行

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候

支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州

爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、橫濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、松山、廣島、長崎、
韓國 公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州、咸興、
清國 大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、漢口、上海、
其他外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

比無勉强 かやわた

關戸蚊帳株式會社韓國代理店

呉服 太物 洋反 蒲團 調進

唐川商店
京城明治町一丁目
電話二六一番

新案特許製綿韓國一手特約店

營業料目

御官衙御用
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐ナシン
穀物食鹽
諸染料類

發賣販賣

東京ランバーメ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
[illegible]

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 十番地電話新橋三六九二

株式會社第一銀行京城支店

資本金 一千萬圓
積立金 五百七十五萬圓
明治六年設立
京城南山三丁目
電話 一一一番 六一二番
振替貯金口座韓國一一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

大上商店

特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目（電話二五一番）

和洋酒、（の）精酢、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物食料雜貨、ビール、米糀、鹽辛、日本食鹽、荒物各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進

後藤法律事務所

仁川京町二丁目六番地（區裁判所横）
電話五〇六

紙と印刷

諸官衙御用
諸紙
和洋簿冊
印刷
各種製本
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

廣告

民事、刑事、其他總ての訴訟事件の鑑定貸金證券、賣掛代金、約束手形、爲替手形、其他總ての債權は事件の大小に不拘現金買入
負債、貸金、銀行、會社の整理引受及相談等は懇切依頼に應貸金請求、家賃取立、小作取立、其他總ての民事、刑事訴事件

右は迅速確實に依頼者の滿足を旨とし事務を取扱ふを以て事件の大小に不拘御來談を乞ふ

京城旭町二丁目一四五（理事廳脇より旭町三丁目へ通る中程）
堤重四郎法律事務所
鐘路典獄後洞廿一統六戶
同鐘路出張所

神戸海上運送火災保險株式會社

資本金五百萬圓
出張所 京城明治町一丁目（電話一五四九）



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
（電話四百十三番）

株式會社 十八銀行 京城支店

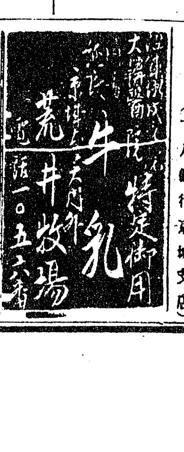
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾六萬圓
京城南大門通（電話四二〇）

本店 長崎市濱町
支店 出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
韓國 日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢二厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）



三一館

人相骨相●稽納的推理の一科學性情鋭鈍能否其他相對絕對の全運命を豫斷す易●萬世不易の大經也洽く人事の煩數を斷決す

京城本町五丁目
推理 鑑斷

通信判斷 易一圓 人相二圓 特別二圓 特別五圓 年齡事項目要 年齡寫眞要

株式會社 百三十銀行 京城支店

電話百九十四番 五十八番
振替貯金韓國一一三番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎

爲替取組先
畿內 大阪、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 東京、橫濱、大磯、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉
東山道 彥根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、高崎、伊勢崎、前橋、若松、福島、酒田、能代、七輪、青森、仙台
北陸道 小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 姬路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、鞆、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、呉、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、徳山、萩、長府、小月、下之關
南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、坂出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、三津ヶ濱、州本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養
西海道 門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、
北海道 小樽、函館、
台灣 臺北、臺南、
樺太 大泊、
韓國 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晉州、馬山、尙州、大邱

銀行一般の業務精々便利取扱可申候